

ユニセフ資料を
活用した指導の例
新型コロナウイルス
SDGs
世界の子ども
の現状を知りたい
ユニセフについて
募金活動をした
い
学校で使える資料や
教材がほしい
ユニセフを
SNSで発信したい
ユニセフ資料を
活用した指導の例
ユニセフについて
募金活動をした
い
学校で使える資料や
教材がほしい
ユニセフを
SNSで発信したい
ユニセフ資料を
活用した指導の例
ユニセフについて
募金活動をした
い
学校で使える資料や
教材がほしい
ユニセフを
SNSで発信したい
ユニセフ資料を
活用した指導の例
ユニセフについて
募金活動をした
い
学校で使える資料や
教材がほしい
ユニセフを
SNSで発信したい

新型コロナウイルスとSDGs

だれひとり、取り残さない世界のために

これまで人類が闘ってきた他の多くの感染症と異なり、新型コロナウイルスの直接の犠牲になる子どもの数はこれまでは比較的少数にとどまっています。しかし、感染拡大がもたらす社会経済の混乱、主要な保健サービスの中断と貧困率の上昇こそ、子どもたちにとって最大の脅威となっています。危機の影響が長引けば長引くほど、子どもたちの教育、健康、栄養、福祉への影響は大きくなり、未来を担う世代全体が危険にさらされることとなります。

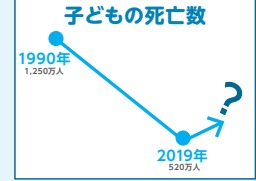
子どもたちへの影響の例

<リスクにさらされる子どもの健康と命>

- 命と健康を守る予防接種キャンペーンが多くの中断され、**三種混合ワクチンの接種率がこの28年で初めて低下***1
- 最悪の場合、**5歳未満の子どもの死亡が年間12万8605人増える**ことが予測されている*2

2020年1~4月、三種混合ワクチン(ジフテリア・百日咳・破傷風混合ワクチン)を接種する子どもの数が減少。外出への抵抗感、交通手段の運休、経済的困難、移動制限などのさまざまな理由があります。

5歳未満で亡くなる子どもは1990年の1,250万人から、2019年には520万人まで減少し続けてきました。何十年にもわたる継続的な支援の成果で進展してきた、子どもたちの生存にかかわる環境の悪化が心配されています。



<貧困率の上昇>

- 子どもの貧困は、先進国(ここではOECDないしEU加盟国)全体で少なくとも**今後5年間は、新型コロナウイルス感染症発生以前の水準を超えたまま**であると予想されている*3



© UNICEF/UN0372124/ マラウイの小学校の校庭に掲げられた「新型コロナウイルス・ガイドライン」の看板。「マスク着用、集会なし、食事なし、1m離れて座る、遊びなし、石けんを手に洗い、握手をしない」と書かれています。(2020年11月撮影)

<多方面に及ぶ休校の影響>

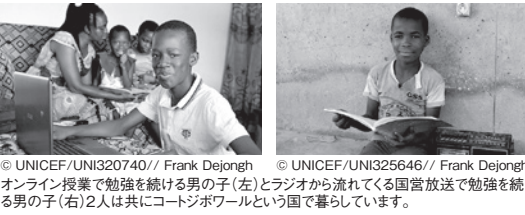
- 2020年4月のピーク時には、休校によって**世界の約90パーセントの学齢期の子どもたちの学習が中断***4
- 一日の食事を学校給食に頼っていた子どもも少なくなく、**143カ国の3億6850万人の子どもの栄養状態への影響が懸念**された*5
- 学校というセーフティーネットがなくなった結果、**虐待、児童婚、児童労働にさらされるリスクの増加も懸念**された*6

ユニセフ・マラウイ事務所では、学校再開後すべての子どもが学校に戻ってこられるよう政府と共にモニタリングを行っており、2020年12月の報告では、78%の生徒(初等教育)の生徒が戻ってきているとされています。学校に戻っていない生徒の理由としては、学校に戻るのが不安という声(54%)や、妊娠や結婚をして戻ることができない(17%)などがあります。*7

*1日本ユニセフ協会プレスリリース「予防接種率最新データ 三種混合(DTP)の接種率が初めて低下 パンデミックによるさらなる低下に警鐘」、2020年7月15日
*2医学専門誌ランセット「新型コロナウイルス感染症が子どもの栄養不良と栄養関連死に与える影響」、2020年7月27日
*3日本ユニセフ協会プレスリリース「先進国の子どもは貧困 今後5年間はコロナ前を上回るレベル」、2020年12月11日
*4School closures caused by Covid-19, UNESCO
*5日本ユニセフ協会プレスリリース「新型コロナウイルス 休校で40%の給食を失う 子どもたちに迫る栄養危機」、2021年1月28日
*6日本ユニセフ協会プレスリリース「教育危機 休校が子どもに及ぼす深刻な影響 事務局長声明」、2021年1月12日
*7UNICEF Malawi, COVID-19 Situation Report 4 December

改めて浮き彫りになった「格差」

長引く休校期間、みなさんの学校ではどのように学習の継続に取り組みましたか?インターネットで調べものをしたり、オンライン授業を受けたりして学習を続けようと思っても、世界の学齢期の子どもの3分の2(3歳から17歳までの13億人)は、自宅でインターネットに接続できません。自宅でインターネットに接続できる子どもの割合は、高所得国では約10人中9人ですが、低所得国ではわずか20人に1人未満と大きな格差があります。*1こうした格差は「国と国の間」だけでなく、「ひとつの国の中」にも存在しています。



© UNICEF/UN0320740 / Frank Dejongh
オンライン授業で勉強を続ける男の子(左)とラジオから流れてくる国営放送で勉強を続ける男の子(右)2人は共にコートジボワールという国で暮らしています。

また、感染予防に有効な手洗いについても、石けんと水で手を洗う設備が自宅にない人は、30億人(世界人口の40%)に及び、命を守るための方策をとれるかどうかにも格差がありました。また、世界の学校の43%には石けんと水で手洗いができる設備がないために、学校の再開が遅れ、教育格差が生まれる要因ともなりました。*2



© UNICEF/UN0411818 / Kiron
バングラデシュ、ユニセフの手洗いキャンペーンで正しい手洗いの方法を学ぶ子ども。

同じ問題に直面しても、命を守ることができるかどうか、教育を続けられるかどうか…子どもたちが手にできるチャンスには、国や地域、その暮らす環境によって差があります。

SDGs(持続可能な開発目標)が目指す世界

不平等、暴力、環境破壊や気候変動など人類が直面している危機を乗り越えようと、2015年、国連で全会一致で採択されたSDGs(国連総会決議A/RES/70/1「我々の世界を変革する:持続可能な開発のための2030アジェンダ」)。この文書の前文と宣言の中で、**すべての人間(People)の権利が守られ、地球(Planet)を破壊から守り、豊かな暮らし(Prosperity)を築き、平和(Peace)を実現し、地球規模で協力し合う(Partnership)世界を目指す**ことが明記され、世界は、全員参加で「だれひとり、取り残さない」社会を実現することを誓いました。

SDGsは人類が取り組むべき多くの課題を整理し、17の目標にまとめて示しています(人類が取り組むべき課題のすべてがここに含まれているというわけではありません)。SDGsは2030年までに達成を目指す「目標」を示しており、その目標を達成するための方法は私たちに委ねられています。目標達成のための方法を考えるときには、各目標のもとにある「ターゲット」を読むと、それぞれの目標が具体的に何を達成しようとしているのかが分かり、解決方法を考えるヒントになります。SDGsは持続可能な世界へ向かう道標のようなものです。私たちが目指す世界像を共有し、世界の課題を学び、問題解決のために考え、行動を起こしていけるように…そんな学習にSDGsをぜひ役立ててください。



新型コロナウイルスの影響は、2030年のSDGsの達成に向けて歩んできた開発を後退させてしまうとも言われています。左ページにある「子どもたちへの影響」はSDGsの17の目標のどれと関係しているのでしょうか?



「もとに戻る」ではなく「より良い変化」のために

ユニセフの支援現場では、「Build back better」という言葉がよく使われます。災害などの危機から復興していく時に、以前と同じ「もとに戻る」のではなく、危機の前からあった社会課題を解決しながら、人や環境にやさしい「より良い変化」を導いていこうという考えです。新型コロナウイルスの影響で、私たちの社会は様々な変化を迫られました。この変化をより良い方向に向かう力に変え、SDGsの達成や「だれひとり、取り残さない」社会の実現を後押しするものにしていくことが大切です。

危機が起きたとき、真っ先に深刻な影響を受けるのは、最も厳しい状況にある人びとや子どもたちです。新型コロナウイルス禍は、私たちに「だれひとり、取り残さない」ために「どうしたらいいのか」「何ができるのか」を問いかけています。私たち一人ひとりにその問いに答える責任があります。そして、SDGsにおいて変化を起こす主役と位置付けられている子どもたちにも、この問いへの答えを考えてほしいと願っています。

日本の学校もオンライン化をはじめ、さまざまな変化が迫られました。これからの学校がどのように変わっていったらいいか。子どもを取り残さず、子どもと大人が協力してよりよい学校づくりをしていけたら素敵ですね!



DVD 巻末DVD「子どもにも力がある～SDGs(持続可能な開発目標)とより良い世界を目指して～」

SDGs 学習に使える! ユニセフ資料の紹介

子ども向け SDGs ウェブサイトオープン!



www.unicef.or.jp/kodomo/sdgs

SDGs CLUBの特長

- ◆ 17の目標のもとにある169のターゲットの「子ども訳」を掲載
- ◆ それぞれの目標ごとに、関連する課題を学べる動画やグラフを掲載
- ◆ SDGsとは何か、生まれてきた背景や歴史も学べます
- ◆ ほかの人の行動宣言を見たり、自分の行動宣言を送ったりすることもできます

SDGs 副教材あります!

私たちがつくる持続可能な世界～SDGsをナビにして～

現在の世界が抱えるさまざまな課題について、短いピックで紹介。自分がこれから解決策を考えたいと思った目標や課題を見つけ、調べ学習をしたり、レポートを書いたりして学習に最適。学びの最後には「行動宣言」を考えてみよう!



www.unicef.or.jp/kodomo/sdgs/kyozai/

資料のお申し込みは
→P.20